

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成30年12月6日 (2018.12.6)

【公開番号】特開2018-150349(P2018-150349A)

【公開日】平成30年9月27日 (2018.9.27)

【年通号数】公開・登録公報2018-037

【出願番号】特願2018-98430(P2018-98430)

【国際特許分類】

C 0 7 D 215/24 (2006.01)

C 0 7 D 471/04 (2006.01)

C 0 7 D 401/12 (2006.01)

C 0 7 D 495/04 (2006.01)

C 0 7 D 487/04 (2006.01)

C 0 7 D 513/04 (2006.01)

C 0 7 D 519/00 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/496 (2006.01)

A 6 1 K 31/4725 (2006.01)

A 6 1 K 31/4709 (2006.01)

A 6 1 K 31/4375 (2006.01)

A 6 1 K 31/551 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/30 (2006.01)

【F I】

C 0 7 D 215/24 C S P

C 0 7 D 471/04 1 0 6 C

C 0 7 D 401/12

C 0 7 D 495/04 1 0 5 A

C 0 7 D 471/04 1 1 7 N

C 0 7 D 471/04 1 2 0

C 0 7 D 471/04 1 0 6 H

C 0 7 D 471/04 1 1 7 Z

C 0 7 D 487/04 1 4 4

C 0 7 D 513/04 3 4 3

C 0 7 D 471/04 1 1 4 A

C 0 7 D 519/00 3 0 1

C 0 7 D 471/04 1 2 1

C 0 7 D 519/00 3 1 1

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 31/496

A 6 1 K 31/4725

A 6 1 K 31/4709

A 6 1 K 31/4375

A 6 1 K 31/551

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 25/30

【手続補正書】

【提出日】平成30年10月29日 (2018.10.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

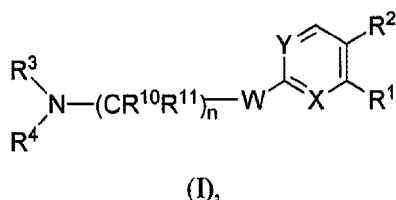
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

式(I)の化合物、又はその医薬として許容し得る塩もしくは立体異性体:

【化 1】



(式中、

nは、2、3、又は4であり；

Wは、O、NR⁵、又はCH₂であり；

Xは、N又はCHであり；

Yは、Nであり；

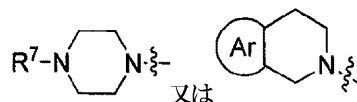
各々のR¹⁰及び各々のR¹¹は、独立に、H、F、OH、又は(C₁-C₄)アルキルであり；

(i)R¹は、アミド、スルホンアミド、任意に置換されたイミダゾリル、もしくは任意に置換されたピラゾリルであり；かつR²は、H、ハロゲン、CN、(C₁-C₄)アルキル、もしくは(C₁-C₃)アルコキシルであるか；又は(ii)R¹及びR²は、それらが結合している炭素原子と一緒に、その各々が1~3個のR⁶で任意に置換されている、5、6、もしくは7員アリール、ヘテロアリール、シクロアルキル、もしくはヘテロシクリル環を形成し；

R³及びR⁴は、それらが結合している窒素原子と一緒に、任意に置換されたヘテロシクリルQを形成し；

Qは、

【化 2】



であり；

R⁵は、H又は(C₁-C₃)アルキルであり；

各々のR⁶は、独立に、OH、ケト、ハロゲン、CN、(C₁-C₃)アルキル、又は(C₁-C₃)アルコキシルであり；

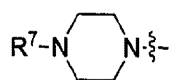
R⁷は、1~3個の置換基で各々任意に置換された、5~10員アリール又はヘテロアリールであり；かつ

環Arは、1~3個の置換基で各々任意に置換された、ベンゾ、ピラゾロ、ピリド、チエノ、ピリミド、ピラジノ、フラノ、ピリダジノ、チアゾロ、又はイミダゾロ環であり；

但し：

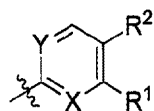
(i)Qが

【化 3】



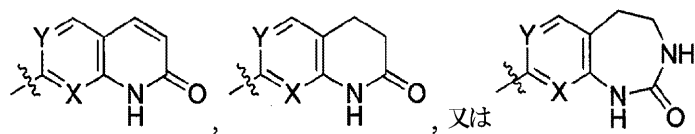
である場合、

【化 4】



は、

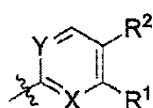
【化 5】



ではなく；

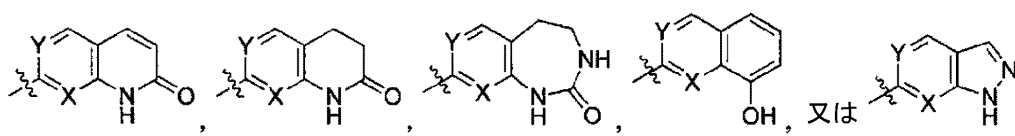
(ii) XがNである場合、

【化 6】



は、

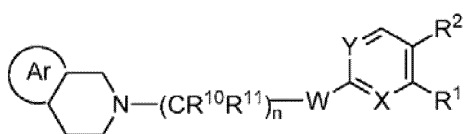
【化 7】



ではなく；

(iii) 式(I)が式(II-b)：

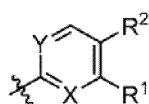
【化 8】



(II-b)

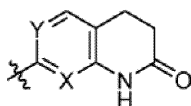
である場合、

【化 9】



は、

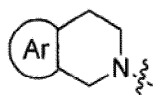
【化 10】



ではなく；かつ

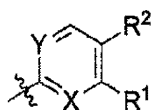
(iv) Qが

【化 1 1】



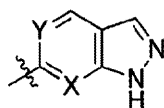
である場合、

【化 1 2】



は、

【化 1 3】



ではない)。

【請求項 2】

nが4である、請求項1記載の化合物。

【請求項 3】

Wが0である、請求項1又は2記載の化合物。

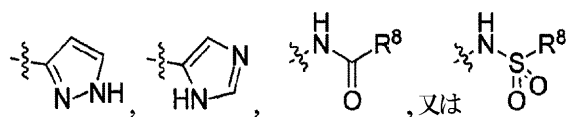
【請求項 4】

R¹⁰及びR¹¹がHである、請求項1～3のいずれか一項記載の化合物。

【請求項 5】

R¹が、

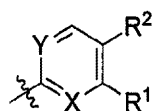
【化 1 4】



であり;ここで、R⁸が、(C₁-C₅)アルキル又は任意に置換されたフェニルである、請求項1～4のいずれか一項記載の化合物。

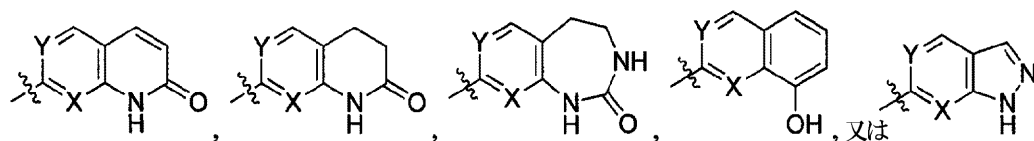
【請求項 6】

【化 1 5】



が、

【化 1 6】

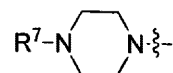


である、請求項1～4のいずれか一項記載の化合物。

【請求項 7】

Qが、

【化 1 7】

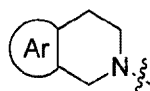


である、請求項1～6のいずれか一項記載の化合物。

【請求項 8】

Qが、

【化 1 8】



である、請求項1～6のいずれか一項記載の化合物。

【請求項 9】

請求項1～8のいずれか一項記載の化合物、又はその医薬として許容し得る塩もしくは立体異性体を含む、医薬組成物。

【請求項 1 0】

1種以上の追加の活性剤をさらに含む、請求項9記載の医薬組成物。

【請求項 11】

請求項1～8のいずれか一項記載の化合物、又はその医薬として許容し得る塩もしくは立体異性体を含む、CNS障害又は神経学的障害を治療、予防、又は管理するための、医薬組成物。

【請求項 1 2】

前記障害が、パーキンソン病、運動障害、運動失調症、筋失調症、本態性振戦、ハンチントン病、多系統萎縮症、ミオクロヌス、進行性核上まひ、レット症候群、続発性パーキンソニズム、痙直、遅発性ジスキネジア、ウィルソン病、ジスキネジア、又はレストレスレッグ症候群である、請求項11記載の医薬組成物。

【請求項 1 3】

前記障害が、統合失調症、精神病、統合失調症関連障害、統合失調症スペクトラム障害、急性統合失調症、慢性統合失調症、NOS統合失調症、統合失調感情障害、統合失調症様障害、パラフレニー、妄想性パーソナリティ障害、スキゾイドパーソナリティ障害、統合失調型パーソナリティ障害、妄想性障害、精神病の要素を有する疾患、精神病性障害、短期精神病性障害、アルツハイマー病性精神病、パーキンソン病性精神病、共有精神病性障害、物質誘発性精神病性障害、一般的な医学的疾患による精神病性障害、精神病性情動障害、攻撃性、せん妄、興奮性精神病、トゥレット症候群、躁障害、器質性精神病、又はNOS精神病である、請求項11記載の医薬組成物。

【請求項 1 4】

前記障害が、情動障害；鬱病；軽度、中等度、もしくは重度型の大鬱病エピソード；躁病性もしくは混合性気分エピソード；軽躁病性気分エピソード；非定型の特徴を伴う鬱病エピソード；メランコリアの特徴を伴う鬱病エピソード；緊張病の特徴を伴う鬱病エピソード；分娩後の発症を伴う気分エピソード；卒中後鬱病；大鬱病性障害；単極性鬱病；治療抵抗性鬱病；気分変調症性障害；小鬱病性障害；月経前不快気分障害；統合失調症の精神病後鬱病性障害；精神病性障害に併発する大鬱病性障害；双極性障害；双極I型障害；双極II型障害；気分循環性障害；季節性情動障害；注意欠陥障害；又は注意欠陥多動性障害である、請求項11記載の医薬組成物。

【請求項 1 5】

前記障害が、中毒又は物質乱用もしくは依存である、請求項11記載の医薬組成物。

【請求項 1 6】

前記障害が、心的外傷後ストレス障害、行動障害、神経変性疾患、アルツハイマー病、

認知症、気分障害、不安症、強迫性障害、目眩、疼痛、神経因性疼痛、神経因性疼痛を伴う感作、炎症性疼痛、線維筋痛、片頭痛、認知障害、認知機能障害、統合失調症と関連する認知機能障害、アルツハイマー病における認知欠陥、パーキンソン病における認知欠陥、多発性硬化症、睡眠障害、摂食障害、又は自閉症である、請求項11記載の医薬組成物。

【請求項 17】

第二の活性剤をさらに含む、請求項11～16のいずれか一項記載の医薬組成物。